

History

Elizabeth Hughesと 安井てつ

(1870~1945)
東京女子大学 第二代学長



本学創立時の学監で、第二代学長の安井てつはイギリスのケンブリッジ大学やオクスフォード大学で教育学や心理学を学びました。1897年(明治30年当時28歳)からのイギリス留学中にキリスト教に接し、後に熱心な信者になりました。また、ケンブリッジ大学ヒューズホールでは、女子教育のバイオニアとして名高い、初代校長のElizabeth Hughesに、安井てつは学びだけでなく多くのことについて影響を受けました。2人は師弟関係を越えた強い絆で結ばれていました。



Hughes女史の勧告

ケンブリッジ大学入学初日、Elizabeth Hughesは安井てつに留学の目的を問い、それを達成する方法として以下の言葉を示しました。安井てつはこの時初めて、「自分の従来の修学目的とその仕方が浅く狭いものであったということに気付いた」と自伝に書いています。

「あなたは遙々日本から英國に來られて教育学を研究されるのであるが、単に教室に於いて学者の講義をきき、又参考書を読むのみでは折角外國に來た甲斐がないと思ふ。書物は日本に歸つても読み得るから此處ではなるべく多くの人々に接して意見をきき、又多くの学校家庭其他必要な場所を広く視察訪問して、教育上の参考に資することが得策であると思ふ。此学校の学生中にも欧州大陸の五六箇國から來ている者があるから、是等の人々からも新しい知識を得られると思ふ。」

大学間交流協定

両大学の歴史的関係を記念し、学術交流の発展を目的として、2005年8月に大学間交流協定が締結されました。(左写真、当時の両大学学長)そして2年後の2007年に、第1回ケンブリッジ教養講座が開催されました。(中央写真2007年度第1回教養講座。右写真前列左から3人目が留学中の安井てつ)



参加体験者の声

・ 母語ではない言語を用いて教養を学び、自分の意見や考えを表現するのは予想していたよりも大変でしたが、同じ環境で頑張る仲間と力を合わせて乗り越えました。楽しいだけではない講座ですが、必ず自分の成長につながる講座であると思います。

・ 日本と全く違う環境の中で過ごしながらさまざまなことを学べます。語学研修とは違い、英語をツールとして利用するため、基本的な英語能力が自然に上がって行きました。ただ単に英語力が上がるというよりは、自ら積極的に質問するなど、自分自身の積極性と、自立心、考える力などが必要になってきますので、そのような力もつけることができました。

・ 当初は、イギリスの大学で学べることに利点を感じての参加でした。しかし現地の方との交流で、自身の考え方などに大きな学びがあり、大学での学び以上に得られるものがあったなと感じています。

・ 講座では、どれだけ英語ができるかが試されるのではなく、どれだけ積極的に取り組めるかが評価されると思うので英語に自信がなくても参加できる。授業が分からなかった場合は担当教員に聞いたり、メンバーと情報共有すればいい。英語力が劣っていたとしてもこれらの積極的行動が大事。

語学研修との違い

「ケンブリッジ教養講座」と「語学研修」どちらにしようか迷っている人は、まず自分が海外に行く目的をはっきりさせてみましょう。語学研修は「語学力向上」が主な目的です。海外の研修先でListening, Speaking, Writing, Reading等の語学の授業を受けます。その他に、文化体験や小旅行などの機会があります。一方、ケンブリッジ教養講座は英語で「大学の授業」を受けます。そのため、出願者には英語テストのスコアが求められます。「語学力の向上」を目指す人には語学研修を、「英語で授業を受けたい」、「英語で何かに挑戦したい」人には、ケンブリッジ教養講座をお勧めします。



CAMBRIDGE PROGRAMME 2024

ケンブリッジ教養講座

国際交流センター



University of Cambridge

ケンブリッジ大学は、1209年に創設された大学で、イギリスではオクスフォード大学に次いで長い歴史を持つ名門大学です。現在、ケンブリッジ大学は31のカレッジで構成されており、各カレッジは自治権をもち、大学の一部でありながら高い独立性を保っています。ケンブリッジ大学は世界で一番多くのノーベル賞受賞者を輩出していることでも有名です。



Hughes Hall

ヒューズホールはケンブリッジ大学を構成する31のカレッジの1つで、1885年にCambridge Training College for Women Teachersとして設立されました。その時の初代学長Elizabeth Hughesの名前が、カレッジ名に残されています。現在では大学院教育を行うカレッジとして知られ、約350名の大学院生が様々な分野の研究を行っています。



About the Programme

2024年度ケンブリッジ教養講座

期 間：2024年8月10日(土)～9月6日(金) (28日間)
研修先：ケンブリッジ大学ヒューズホール (イギリス)
宿 舎：ヒューズホール学寮 (個室)
定 員：20名 (最少催行人数：15名)
視 察：本学教員が1週間程度視察
費 用：約95万円～
旅行社：(株)エスティーエートラベル
授 業：：(1)The Historic and Contemporary Place of Science in Society
(2)20th and 21st Century British and American Cultural Studies
(各コース22.5時間)
講 師：ケンブリッジ大学の講師
P A：ケンブリッジ大学の学生がProgram Assistantとしてサポート
単 位：成績合格者には出願により単位認定あり
(学務課での手続きが必要)

Application Requirements

GPAの目安 : 2.5
英語テストの目安：TOEIC (IPテスト含む) 600/英検 準1級
英語のスコア、成績が基準外でも応募は可能です。

<応募資格>

- * 2024年度学部2~4年次または大学院に在学する学生で、向学心旺盛な者
- * 教養講座を受講するために必要な英語力と基礎学力を有する者
- * 自発的に学習をすすめ、講座に積極的に参加できる者
- * 協調性があり、グループで協力し合い互いに尊重できる者
- * 異文化に柔軟に適應でき、団体行動のとれる者
- * 提出書類を虚偽や不備なく作成し、期限を守ることができる者
- * 保証人の承諾が得られる者
- * 本学が指定する、基本的な傷害・疾病・救援者費用・賠償責任などを補償する「学研災付帯海外留学保険」に加入できること
- * 外部危機管理業者の危機管理システムへの加入および外務省たびレジへの登録に同意できる者
- * 諸手続きや団体行動及び本学・研修大学・旅行社の指示に従うことができる者
- * 参加決定後の学習会・説明会・危機管理&保険説明会に必ず参加できる者
- * 研修終了後、報告書を必ず提出できる者

Schedule

1 説明会に参加

現地講師によるInformation Session (参加任意) : 3月26日(火) 16:00~16:30
募集説明会 (参加必須) : 4月12日(金) 12:35~13:05 (24201教室)
※募集説明会に参加しないと本講座に申し込むことができません。

2 出願書類の準備・提出

出願様式に入力・記入し、必要な書類を用意し、国際交流センターへ提出。出願締切日に間に合うように、早めに準備を開始する。「健康状態について」には保証人の直筆の署名が必要。
申込締切：5月7日(火) 17:00

3 選考

出願書類をもとに書類選考を行う。その後書類選考合格者を対象に面接選考を実施。面接は本学教員によるグループ面接(英語+日本語)
書類選考結果発表：5月9日(木) 10:00 (メール通知)
面接日：5月中旬 (対面もしくはZoom)

4 参加者確定

面接選考結果発表：5月中旬～下旬 (メール通知)

5 各種説明会・学習会参加

参加必須の参加者説明会、学習会、旅行社説明会、危機管理&保険説明会に参加する。また、出発までに英語力の強化とコースに関する自主学習を行う。

